

＜お知らせ＞

平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業) 対象事業者の3次公募について

一般社団法人温室効果ガス審査協会 ASSET 事業運営センターでは、環境省から平成 29 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業 (ASSET 事業)。以下、「本事業」という。)の交付決定を受け、ASSET 事業者の1次公募(4月27日～5月25日)並びに2次公募(6月30日～7月27日)を行いました。引き続き3次公募を実施いたします。

1. 事業概要

日本が排出する温暖化ガスを2030年までに2013年比で26%削減する政府目標の達成に向けて、排出量の増加が顕著である業務部門と最大排出部門となっている産業部門における排出量の大規模削減を実現するには、先進的な設備導入支援及び費用効率性向上を促す仕組みや、更なる排出量削減に取り組む事業者の裾野拡大が必要です。なお、低炭素社会実行計画では、設備の新設・更新に“利用可能な最高水準の技術”を最大限導入することを前提に、2020年の二酸化炭素削減目標を設定する事が掲げられています。また、国内排出量取引制度の検証にあたっての実証として、参加者間で取引(売買)できる排出枠を付与して取引を可能とすることで、事業全体で着実な二酸化炭素排出量削減を実現するとともに、排出量取引に対する事業者の意識醸成、制度面での課題の整理、知見の蓄積を図ることも必要です。

こうしたことから、環境省では、既存ストックの更新等に際して、事業者が導入すべき先導的・低炭素機器を見定め、それを効果的・効率的に導入することを支援する「先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業」を行っています。

本事業は、率先して先進的で高効率な低炭素機器の導入に取り組む事業者が、ア) L2-Tech 認証製品の導入、イ) L2-Tech 認証製品以外でエネルギー起源二酸化炭素削減効果のある機器の導入、ウ) 運用改善等を組み合わせることにより、事業場・工場における適切なCO₂排出削減目標を掲げ、その目標達成を約し、本事業の参加者全体で排出枠を調整し、補助事業全体で確実な排出削減を担保し、業務・産業両部門におけるCO₂排出量を効率的に大幅削減することを目的としているものです。

2. 公募対象事業

＜優先対象事業＞

国内の事業場・工場において、L2-Tech 認証製品等の導入を行う事業のうち、以下①から⑦の要件をすべて満たし、③項において、別紙1A、1Bに○印で示す設備・機器等を含む提案を募集します。

＜その他応募事業＞

前項の＜優先対象事業＞を優先審査の結果、予算額に達しない場合には、すでに3事業を採択した「設備・機器等」を含むすべての提案(③項において、別紙1A、1Bに○印のないものみの提案も可)で、以下①から⑦の要件をすべて満たすものについて、費用効率性に基づくリバースオークション方式により、予算の範囲内で補助事業を選定します。

但し、提案が集中した「設備・機器等」については、環境省と協議の上、採択件数を制限する場合があります。

[補助事業の要件]

- ① 事業場・工場における基準年度排出量（実施要領第3（2）②参照）が 50t-CO2 以上であること
- ② 補助事業実施後の事業場・工場の二酸化炭素排出量が、基準年度比で削減される事業内容であること
- ③ 別紙1「環境大臣指定設備・機器等一覧」に掲げる設備・機器等に属する製品を少なくとも1つ以上導入すること
- ④ L2-Tech 認証製品の材料費が補助事業で導入する機器の材料費全体に対して 50% 以上であること
- ⑤ 運用改善等による排出削減目標量が排出削減目標量全体に対して 10%以上であること
- ⑥ 平成28年度に二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業）により機器等を導入した事業場・工場でないこと。
- ⑦ L2-Tech 認証製品を導入したことによる CO2 削減効果及びランニングコスト削減効果が定量的に把握可能であること

3. 公募詳細

- (1) 詳細については、次頁に示す公募要領・応募様式をご確認ください。
各資料は、ASSET ウェブサイトの実施ルール・様式-目標保有者用-平成29年度（第6期参加者）(<http://www.asset.go.jp/rule>)からダウンロード下さい
なお、公募要領につきましては必ず3次公募要領を使用ください。
- (2) 3次公募では公募説明会は行いません。

4. 公募期間

平成29年9月8日（金）～平成29年9月28日（木）12時まで

5. 公募に関するお問い合わせ

電子メール以外でのお問い合わせはできませんのでご注意ください。

公平性を期すため、問い合わせ期間を設けております。

1	問合せ期間	平成29年9月5日（火）～9月25日（月）
2	公募質問票	ASSET 公募質問票（Excel ファイル）※
		公募の内容に関して質問のある方は、公募質問票に必要事項と質問内容を記入し、メール送付先に添付送信。
3	メール送付先	asset@gai.or.jp
4	メール件名	ASSET 質問（御社名）

※ASSET 公募質問票は、ASSET ウェブサイトの実施ルール・様式-目標保有者用-平成29年度（第6期参加者）(<http://www.asset.go.jp/rule>)からダウンロード下さい。

公募要領、応募様式一覧

■公募説明会資料	
公募説明会資料	
■A_公募要領	
A1	公募要領(PDF)
A2	【様式1】公募要領様式(Word)
A3	【様式】29 公募要領別添1～3 (Excel)
A4	【記入例】29 公募要領別添1～3 (PDF)
A5	【様式・記入例】29 公募要領別添2 添付補足資料 (Excel)
A6	2次公募要領(PDF)
A7	3次公募要領(PDF)
■B_ルール・ガイドライン	
B1	ASSET 実施ルール (Ver.6.0) (PDF)
B2	モニタリング報告ガイドライン (Ver.6.0) (PDF)
■C_算定報告書	
C1	【様式】29 公募要領別添4-1 (単独参加者用) (Excel)
C2	【記入例：工場】29 公募要領別添4-1 (単独参加者用) (Excel)
C3	【記入例：事業場】29 公募要領別添4-1 (単独参加者用) (Excel)
C4	【様式】29 公募要領別添4-2 (グループ参加者用) (Excel)
C5	【記入例】29 公募要領別添4-2 (グループ参加者用) (Excel)
C6	【様式】その他の方法にかかる報告様式 (Word)
C7	【記入例】その他の方法にかかる報告様式 (PDF)
■D_平均気温データ	
D1	各都道府県の2014～2016年平均気温 (PDF)
■E_交付規程	
E1	【交付規程】29 先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業 (PDF)
E2	【交付規程様式】29 先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業 (Word) 全体頁
E3	【交付規程様式第1 別紙1】整備計画書 (Excel)
E4	【交付規程様式第1 別紙2】経費内訳 (Excel)
E5	【交付規程様式第11 別紙1】実施報告書 (Excel)
E6	【交付規程様式第11 別紙2】経費所要額精算調書 (Excel)
E7	【交付規程様式第11 別紙2】【記入例】
■F_交付要綱・実施要領	
F1	【交付要綱】二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業) 交付要綱 (170317 施行版) (PDF)
F2	【実施要領】先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業実施要領 (170317 施行版) (PDF)
■Q_公募質問票	
Q1	【様式】公募質問票 (Excel)

2016年度夏版L2-Tech認証製品一覧
(○印は優先対象)

別紙1A

技術体系	設備・機器等	優先対象	
産業・業務 (業種共通)	空調機 (ヒートポンプ・個別方式)	ガスヒートポンプ パッケージエアコン(店舗・オフィス用) パッケージエアコン(設備用) パッケージエアコン(ビル用マルチ) 氷蓄熱式パッケージエアコン	○
	熱源・空調機 (ヒートポンプ・中央方式)	ターボ冷凍機 水冷ヒートポンプチラー 空冷ヒートポンプチラー	○
	熱源・空調機 (吸収式・中央方式)	吸収冷温水機 (二重効用) 吸収冷温水機 (三重効用) / 廃熱投入型吸収冷温水機 (三重効用) 一重二重併用形吸収冷温水機	○ ○
	熱源・空調機 (吸着式・中央方式)	吸着式冷凍機	○
	熱源 (ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式) 高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式) 高温水ヒートポンプ(水熱源・循環式) 高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式) 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式) 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式) 熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式) 蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式) 蒸気再圧縮装置	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	給湯器 (ヒートポンプ)	ヒートポンプ給湯機(空気熱源・一過式)	
	給湯器 (ガス式)	潜熱回収型給湯器 温水機	
	ボイラ	蒸気ボイラ(貫流ボイラ) 蒸気ボイラ(炉筒煙管ボイラ) 蒸気ボイラ(水管ボイラ) 熱媒ボイラ	○ ○ ○
	コージェネレーション	ガスエンジンコージェネレーション ガスタービンコージェネレーション 燃料電池コージェネレーション	○ ○ ○
	冷凍冷蔵機器	業務用冷凍冷蔵庫 空気冷媒方式冷凍機 冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機 (アンモニア/CO2二次冷媒システム)	○ ○ ○
	照明器具	LED照明器具	
	モータ	誘導モータ 永久磁石同期モータ	○
	変圧器	変圧器	○注1
	窓	窓ガラス	
	エネルギーマネジメントシステム	BEMS (制御サービス・空調・熱源・中央方式)	

注1. 変圧器には油入り変圧器とモールド変圧器があるが、優先対象はモールド変圧器のみ。

2016年度冬版L2-Tech認証製品一覧
(○印は優先対象)

別紙1B

技術体系	設備・機器等	優先対象	
産業・業務 (業種共通)	空調機 (ヒートポンプ・個別方式)	ガスヒートポンプ パッケージエアコン(店舗・オフィス用) パッケージエアコン(設備用) パッケージエアコン(ビル用マルチ) 氷蓄熱式パッケージエアコン	○
	熱源・空調機 (ヒートポンプ・中央方式)	フロン類等冷媒ターボ冷凍機 自然冷媒ターボ冷凍機 水冷ヒートポンプチラー 空冷ヒートポンプチラー	○ ○ ○ ○
	熱源・空調機 (吸収式・中央方式)	間接気化式冷却器 吸収冷温水機 (二重効用) 吸収冷温水機 (三重効用) / 廃熱投入型吸収冷温水機 (三重効用) 一重二重併用形吸収冷温水機 木質ペレット直焚き吸収冷温水機 (二重効用)	○ ○ ○ ○ ○
	熱源 (ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式) 高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式) 高温水ヒートポンプ(水熱源・循環式) 高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式) 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式) 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式) 熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式) 蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式) 蒸気再圧縮装置	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	給湯器 (ヒートポンプ)	ヒートポンプ給湯機(空気熱源)	
	給湯器 (ガス式)	潜熱回収型給湯器	
	ボイラ	温水機 蒸気ボイラ(貫流ボイラ) 蒸気ボイラ(炉筒煙管ボイラ) 蒸気ボイラ(水管ボイラ) 熱媒ボイラ	○ ○ ○ ○
	コージェネレーション	ガスエンジンコージェネレーション ガスタービンコージェネレーション 燃料電池コージェネレーション	○ ○ ○
	冷凍冷蔵機器	空気冷媒方式冷凍機 冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機 (アンモニア/CO2二次冷媒システム)	○ ○
	照明器具	LED照明器具	
	モータ	誘導モータ 永久磁石同期モータ	○
	変圧器	油入変圧器 モールド変圧器	○
	モータ利用機器 (圧縮機)	蒸気駆動圧縮機 熱回収式ねじ容積形圧縮機	
	窓	Low-E複層ガラス(LE3+A12+FL3) 三層Low-E複層ガラス(LE3+Ar11+FL3+Ar11+LE3) 真空Low-E複層ガラス(LE3+Ar9+FL3+V0.2+LE3) アタッチメント付きLow-E複層ガラス(LE3+Ar6+FL3 (アタッチメント付き)) 真空ガラス (LE3 + V0.2+FL3) 現場施工型後付けLow-E複層ガラス(FL6+A12+LE5) 薄型Low-E複層ガラス(LE3+Kr4+FL3)	○ ○ ○ ○ ○ ○
	洗濯機	業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機	○
	エネルギーマネジメントシステム	BEMS (制御サービス・空調・熱源・中央方式)	